

平成 28 年度 公 2 事業報告書（川崎市国際交流センター）

I 情報収集・提供事業

■ 1 図書・資料室・情報ロビーの運営事業

(1) 図書・資料室の運営

川崎市国際交流センターの図書・資料室の運営において、図書、資料、新聞、雑誌、ビデオなど国際交流関係図書等の充実を図るとともに、利用者への情報提供を行った。

- ① 利用時間 10:00～20:00（開館日）
- ② 利用対象 小学校4年生以上（小学校3年生以下は保護者の同伴が必要）
- ③ 複写 資料の必要箇所を著作権法の範囲でコピー可とした。
白黒コピー（B5～A3）1枚10円
カラーコピー（B5～B4）1枚50円（A3）1枚80円
- ④ 閲覧等 閲覧利用とし、学校等公的団体への貸出しを行った。
- ⑤ 利用者数 11,550人
- ⑥ 閲覧件数 図書等（2,438件）ビデオ（76件）CD（88件）DVD（10件）パソコン（537件）
- ⑦ 閲覧図書上位 1. 児童向け図書 2. 参考図書 3. ワールド
4. ヨーロッパ 5. 語学
- ⑧ 蔵書数

書 籍	15,691冊 和図書 13,030冊 外国語図書 2,661冊
新 聞 （日刊・週刊など）	18紙 英語 1紙 韓国・朝鮮語 1紙 中国語 3紙 日本語 11紙 フィリピン語 1紙 日本語 / 中国語 1紙
情 報 誌	38誌 和雑誌 24誌 外国語雑誌 14誌 在日外国人向け生活情報誌 7誌
視聴覚資料	646巻
新聞スクラップ	7タイトル

（平成 29 年 3 月末現在）

(2) ロビー、ギャラリー等の運営

国際交流センターの各種施設を活用し、市民及び外国人への情報提供を行った。

(1) 外国人への情報提供（情報ロビー）

外国語専用のパンフレットコーナー及び掲示板を設置し、外国人市民への情報提供を行った。

- (2) 国際交流に係る資料や作品の展示(情報ロビー)
国内外の文化に身近に接してもらうため、写真や絵画などの展示を行った。
- (3) 姉妹・友好都市の紹介(ギャラリー)
姉妹・友好都市との盟約書及び記念品等を展示し、姉妹・友好都市の紹介を行った。
- (4) 国際交流に関わる情報提供(談話ロビー、プロムナード)
国際交流や国際協力、また他団体などの各種事業、イベントなどのポスター、チラシ、パンフレットを掲示・配布し、市民への情報提供を行った。
- (5) 国際交流に関わる情報交換(談話ロビー)
市民や団体などからの情報をメッセージボードに掲示し、相互の情報交換を行った。
- (6) 各国紹介パネルの展示(情報ロビー、プロムナード)
在日大使館などから提供されたポスターや写真などを館内掲出し、紹介するとともにセンターの国際的な環境づくりを行った。
- (7) インターネットコーナー(受付前)
市民が無料で利用できるインターネットコーナーの稼働により、市民の情報収集の利便性を高めた。インターネット接続のパソコン2台を設置し、市民への情報提供を行った。
- (利用時間) 9:30～20:00(施設点検日を除く)
(利用内容) インターネットの閲覧のみ。
(利用料) 無料。1回あたり30分まで
(利用件数) 744件

※情報ロビーでの催事・展示

国際交流の拠点として、来館者が気軽に世界各国の文化に触れられるように、国際交流の写真や絵画などの展示を無料で行った。

	展示内容	主催団体等	展示期間
1	フットメザ講習会～紹介とやり方展示～	フットメザ・ジャパン	4/17、5/22、 6/19、7/24、 9/4
2	川崎市と韓国・富川市友好都市提携20周年記念展示	(公財)川崎市国際交流協会	7/2～9/30
3	日本・イタリア国交樹立150周年記念展示	(公財)川崎市国際交流協会	9/1～10/31
4	外国人が見た「カワサキフォトコンテスト」作品展示	(公財)川崎市国際交流協会	12/10～2/20
5	ボランティアタウンフェスタ2016	川崎市社会福祉協議会	12/18
6	防災を考える～防災訓練写真展と情報提供～ 防災アンケート集計結果	(公財)川崎市国際交流協会	2/21～3/3
7	アトリエ5 作品展	アトリエ5	3/2～3/5
8	姉妹都市提携40周年記念展示～クロアチアの魅力～	(公財)川崎市国際交流協会	3/6～5/10

※展示ロビーでの展示

	展示内容	主催団体等	展示期間
1	成田山競書大会展示	船の会書道教室	6/14～6/19
2	日本習字作品展	日本習字葉菜支部	8/19～8/21
3	水辺のある風景写真展(個展)	井上圭一郎	8/23～8/29
4	夏の作品展(絵画、工作の展示)	アトリエ遊美術音楽研究所	9/ 2～9/ 4
5	川崎ジュニア文化賞 作品展示	川崎信用金庫	9/ 5～9/21
6	平面絵画・立体工作 生徒作品展	絵画教室アトリエ・ミオス	10/4～10/10
7	子ども絵画コンクール in サラエボ入賞作品展	イピル・イピルの会	10/13～10/23
8	書道発表会	日曜書道サークル	10/28～10/30
9	水墨画展示会	五墨会	11/ 1～11/6
10	書道作品展	森書道教室	11/ 7～11/13
11	美術展(絵の展示)	アトリエナチュール	11/18～11/20
12	ボランティア団体活動紹介パネル展示	かわさきボランティアタウン フェスタ2016	12/17～12/18
13	酉年のとりの絵と絵皿の展示	アトリエ遊	1/13～ 1/15
14	絵の展示	絵画アートひろば	1/20～ 1/22
15	ネパール視察パネル展	神奈川ユニセフ協会	2/15～ 2/25
16	作品展(絵画・工作・油絵)	アトリエ5	3/ 2～ 3/ 5

※談話ロビーの運営「多文化ショーステージ」

	開催内容	出演者	開催日	参加人数
1	南米の民族楽器 アルパの演奏	有坂日出子	5/14(土)	158
2	キッズ・ミュージカル	Dianna Ishiyama Song & Dance Musical 教室	6/25(土)	96
3	台湾の多元性音楽	宜蘭青少年国楽団	7/7(木)	67
4	エジプト・イスラム文化紹介	ネーマ・モハメド・ヨスリ・ オスマン	7/9(土)	35
5	「学校に通いたい」上映会 ～マララ銃撃事件後のパキスタン～	ゲスト:林アルタフ (横浜 masjid 運営委員)	8/20(土)	31
6	ハワイアン・ミュージックに合わせて楽しく 踊りましょう	カウピリフラオハナ (Kaupili Hula Ohana)	9/10(土)	83
7	ファミリー JAZZ コンサート	福本純也 Boyltson Jazz Quartet	9/24(土)	145
8	“昭和の歌”歌いましょう！聞きましょう！	歌:戸田志香 オーボエ&ピアノ:川本眞理	10/22(土)	115
9	イルヴィン・コージ ソロコンサート	Irving Koji	11/5(土)	120
10	吹奏楽の演奏	ママブラス Largo(ラルゴ)	2/11(土)	63

II 広報出版事業

■ 2 情報提供事業

(1) 国際交流センターだより等の発行

① 「国際交流センターだより」の発行

(目的) 国際交流センターをより身近な施設として利用していただくため、センターの催し物や講座、施設についての情報をニューズレター形式で発信した。

(発行) 年間10回(月刊、7・8月号、2・3月号は合併号)

(部数) 5,000部/回

(内容) 月間の行事予定、講座及び行事の募集、センターちよこっとだより、施設点検日・休館日のお知らせ、その他

(配布先) 各区役所、市民館、図書館など公共施設、川崎市内公立学校、中原区住吉地区町内会に回覧、その他国際交流関係機関など

② かわさき国際交流センターニュース「SIGNAL」(シグナル)の発行

(目的) センター等の事業ならびに市内の国際交流活動、ボランティア活動などを紹介し、国際交流について広く市民に情報を提供した。

(発行) 年4回(季刊)

(部数) 5,000部/回

(編集等) 協会登録のボランティアが編集、取材、原稿作成、校正、発送などを行った。

(配布先) 各区役所、市民館、図書館などの公共施設、市内小中学校、高校、大学等、ボランティア、国際交流関係団体等

(2) センターホームページの運営

国際交流協会のホームページにより、市民及び外国人に国際交流に関する多様な情報を提供した。月1回程度WEB刷新会議を開催し、外国人に対して親しみのもてるより見やすいホームページとなるよう検討を行った。

(ホームページ) URL <http://www.kian.or.jp/>

(提供内容)

○川崎市国際交流協会について

- ・国際交流協会案内
- ・協会のイベント及び講座
- ・協会が後援するイベント
- ・ニューズレター
- ・図書・資料室
- ・国際交流事業への助成制度

○外国人への情報提供について

- ・日本語講座
- ・外国人市民相談コーナー
- ・生活情報
- ・外国人留学生への助成制度
- ・7言語での川崎市内のお知らせ

○小学生への情報提供について

- ・川崎市の外国人に関するデータ
- ・姉妹友好都市について

○その他

- ・ボランティア活動
- ・国際交流民間団体協議会
- ・身近な国際協力
- ・Facebook
- ・ブログ

(アクセス件数) 112,789件 (308アクセス/日)

(更新数) 1,674回

(3) 各種メディアの活用

①「かわさきFM」の活用

- ・適宜、「アクセスかわさき」等生放送番組に電話による出演などで、センター事業の広報を行った。
- ・「世界の国からこんにちは」の スポンサーとなっている。川崎市内施設で学ぶ日本語講座受講生等が出演し、自国での経験や外国の新鮮な情報を届けた。

(出演日時) 平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

(場 所) 武蔵小杉タワープレイス 1 階

(人 数) 各回 2～3 名の外国人 (中国・ベトナム等) 市民とオブザーバー (日本) 1 名

②「暮らしの窓」の活用

センターの指定管理者共同事業体の構成員が管理するマンションへ、定期的に配布をしている情報誌「暮らしの窓」に、センターのイベント情報、施設情報を掲載したチラシを挟み込み、センター事業の広報を行った。

(配布時期) 平成 29 年 2 月

(配布先) 中原区、宮前区、幸区、高津区内のマンション 194 か所 10,536 戸

③「Facebook」(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の活用

毎週 4 回以上、センターのイベントや講座およびセンターの様子などについて、写真や画像を掲載し、最新の情報を提供した。言語は内容に応じて、日本語と「やさしいにほんご」を使用した。

Ⅲ 講座・研修事業

■ 3 日本語講座開催事業

外国人市民等の日本語学習を支援するため、段階別クラス編成による少人数の日本語講座を通年にわたり開講した。また、受講生に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

(1) 日本語講座の開催

(講 座)

○午前コース (9:50～11:50) 年間 3 期、週 2 回 (火、金)、
保育 (受講生の子どもを預かる) 実施

1 学期 : 4/19～7/8 (22 回)、2 学期 : 9/23～12/6 (22 回)、3 学期 : 1/17～3/14 (17 回)

○夜間コース (18:30～20:30) 年間 3 期、週 1 回 (水)

1 学期 : 4/20～7/13 (12 回)、2 学期 : 9/7～12/14 (14 回)、3 学期 : 1/18～3/15 (9 回)

(講 師) 協会登録の日本語講座ボランティア

(活動ボランティア) 協会登録の保育ボランティア (保育)、一般ボランティア (受付)

(場 所) 川崎市国際交流センター・会議室、協会会議室、研修室、ボランティア活動ルーム

(受 講 生) 430 名 (38 の国・地域)

(2) 特別講座

受講生に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

- ①手工芸講座 6月3日(金)
受講生21名、講師5名 計26名(午前コース)
- ②七夕飾りとその作り方 6月29日(水)
受講生35名、日本語ボランティア10名 計45名(夜間コース)
- ③七夕飾りとその作り方 7月1日(金)
受講生43名、日本語ボランティア15名 こども10名 計68名(午前コース)
- ④市内見学(日本民家園訪問)10月25日(火)
受講生等50名、子ども7名、日本語ボランティア16名 計73名(午前コース)
- ⑤特別講座 書道体験 11月11日(金)
受講生44名、講師2名、日本語ボランティア9名 計55名(午前コース)
- ⑥手工芸講座 11月29日(火)
受講生25名、講師4名 計29名(午前コース)
- ⑦課外活動(サントリー武蔵野ビール工場訪問)12月4日(日)
受講生等24名、子ども1名、日本語ボランティア4名 計29名(夜間コース)
- ⑧課外活動梅まつり(大倉山公園梅林) 2月19日(日)
受講生等15名 日本語ボランティア6名 計21名(午前コース、夜間コース)
- ⑨防災訓練 2月21日(火)
受講生33名、日本語ボランティア12名、保育ボランティア3名、子ども9名、職員36名、中原消防署、消防団他 参加者計250名
- ⑩特別講座 お茶体験 2月22日(水)
受講生28名、ボランティア15名 計43名(夜間コース)

(3) 研修会

①日本語講座ボランティアブラッシュアップ研修

協会登録日本語ボランティアを対象に研修を2回開催した。

1回目

- (テーマ) 言葉ってこんなにおもしろい
(期 日) 平成29年2月25日(土) 14:00~16:00
(講 師) 日本語学校日本語教師養成講座講師
(場 所) 川崎市国際交流センター
(参加者) 29名

2回目

- (テーマ) 前半「初級授業のコツとポイントー「初めの5歩」をうまく使おう」
後半「中級の教え方
ー中級指導内容の概略と『中級へ行こう』第1課の指導実践例」
(期 日) 平成29年3月4日(土) 13:00~16:00
(講 師) 大学内日本語・日本文化教育センター講師
(場 所) 川崎市国際交流センター
(参加者) 31名

②日本語講座ボランティア登録事前研修

協会の日本語講座ボランティア登録の希望者を対象に事前研修を開催した。

(日 時) 平成 28 年 10 月 22 日、29 日・11 月 12 日、26 日・12 月 10 日、17 日・
平成 29 年 1 月 14 日、21 日、28 日・2 月 25 日 (土) 10:00~12:00

(回 数) 全 10 回

(講 師) 東京外国語大学多言語多文化教育研究センターフェロー、
協会 日本語講座 ボランティア

(場 所) 川崎市国際交流センター

(内 容) ボランティアの心得、川崎の識字教育のこれまでの歩みの紹介
当協会のオリジナルテキスト「日本語 160 時間」上・下巻を使って、カリキュ
ラムや授業の進め方の模擬授業を学んだあと、実習を中心に学習。

(参加者) 8 名 (協会日本語講座ボランティア登録希望者)

■ 4 国際文化理解講座事業 グローバルセミナー

(1) グローバルセミナー国際文化理解講座

グローバル化の進展などにより、多くの課題を抱えている世界について、地球市民として何ができるかを学ぶ。

今年度は、日本に住んでいる外国人が感じる「日本の魅力」や「文化の違い」とは何か。日本語が話せる外国人から学んだ。

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	10/29(土)	在住外国人が感じた日本 (ビジネス編)	大学講師	25
2	11/12(土)	伝統と現代が共存する国 (文化編)	大学講師	23

(2) 国際文化理解講座

日本・イタリア国交樹立 150 周年を記念し、イタリア人音楽家による「イタリア音楽」をテーマとした講座を開催。歴史あるイタリア音楽の流れを学んだ。

(期 間) 平成 28 年 9 月 1 日、8 日、29 日 (木)

(会 場) 川崎市国際交流センター・ホール

(時 間) 13:30~15:30

	日 程	内 容	講 師	受講者
1	9/1 (木)	19 世紀のイタリアオペラのヒーロー ヴェルディ	音楽大学講師	112
2	9/8 (木)	ヨーロッパと世界へ広がるオペラとイタリア音楽	音楽大学講師	92
3	9/29 (木)	オペラからカンツォーネまで	音楽大学講師	94

■ 5 国際理解講座事業

地域社会の多文化共生を推進するため、外国語(英語、中国語)のほか文化を通じての国際理解講座を開催した。

(1) 外国語による国際理解講座

①英語による国際理解講座(前期)

当協会登録ボランティアなどの外国人市民等を講師に招き、中級レベル以上の英語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。それぞれの母国の文化や社会問題、日本での異文化体験について、講義と交流を行った。

(期間) 平成28年5月14日(土)、5月28日(土)

(時間) 10:30~12:00

(会場) 国際交流センター 団体活動ルーム

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	5/14(土)	“Want to see the real Australia?” 「本当のオーストラリアを見てみませんか」	語学教室講師	45
2	5/28(土)	“Understanding English through World History” 「世界における英語の歴史」	川崎市国際交流員	40

②英語による国際理解講座(後期)

(期間) 平成28年9月24日(土)、10月15日(土)

(時間) 10:30~12:00

(会場) 国際交流センター 団体活動ルーム

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	9/24(土)	“People’s lives in Saudi Arabia and Islamic culture” 「サウジアラビアの人々の生活とイスラム文化」	株式会社代表取締役社長	35
2	10/15(土)	“The Key to Cross-Cultural Communication” 「異文化間コミュニケーションの秘訣」	専修大学英語インストラクター	38

③中国語による国際理解講座

外国人市民を講師に招き、中級レベル以上の中国語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。中国の文化や台湾のおやつ等について、講義と文化の体験や交流を行った。

(期間) 平成28年9月17日(土)、9月24日(土)、10月1日(土)

(時間) 9/17, 10/1 14:00~16:00 9/24 13:00~16:00

(会場) 国際交流センター 団体活動ルーム、料理室

	日 程	内 容	講 師	受講者
1	9/17(土)	「映画の発展と中国映画」	河南省洛陽出身 日本映画大学在学	16

2	9/24 (土)	「台湾おやつ」	台湾出身 幸福五番本舗代表	22
3	10/1 (土)	「中国音楽あれこれ」	ソプラノ歌手	16

■ 6 ボランティア養成事業

(1) 観光ボランティア通訳セミナー

川崎の地域性を生かし川崎の魅力を伝えることのできる人材を養成するため、日英通訳経験者を対象に研修を開催した。

	日 程	内 容	講 師	受講者
1	2/5 (日)	歴史と文化をはぐくむ町川崎	かわさき歴史ガイド協会 高津シルバーガイドの会	20
2	2/12 (日)	世界最高水準の研究開発 ～日本の成長戦略の一翼を担う川崎～	元 川崎市経済労働局長	21
3	2/19 (日)	来訪者に伝えたい川崎の特性と魅力	川崎市観光協会 事務局長 ガイドの会 コーディネーター	19
4	2/26 (日)	外国人へのアプローチ ～川崎市観光協会の戦略～	専修大学 英語インストラクター	38
5	2/26 (日)	外国人への案内ボランティア実践	川崎国際交流茶道研究会会長 みやうち着物学院 学院長	38

(2) プロボノによる多文化共生社会推進事業

プロボノ支援による通訳活用会議

通訳案内士として協会にボランティア登録している人材を中心に、学識経験者、観光協会の参加も得て、協会登録者の組織化・活性化に向けて、また観光ボランティア通訳セミナーの内容について、協議した。

(日 時) 平成 28 年 12 月 18 日 (日) 10:30～12:30

(会 場) 川崎市国際交流センター研修室

(参加者) 10名

IV 国際交流促進事業

■ 7 日本語スピーチコンテスト事業

(1) 日本語スピーチコンテスト

川崎市内の大学や専門学校の留学生や日本語講座の受講生および企業等の外国人研修生等を対象に、第 22 回日本語によるスピーチコンテストを開催し、日本人と外国人との相互理解を深めた。また、交流会を開催し、出演者と聴衆、関係者との交流も実施した。

(期 日) 平成 29 年 2 月 18 日 (土) 13:00~17:00

(会 場) 川崎市国際交流センター・ホール 他

(内 容) スピーチコンテスト、交流会

(主催等) 主催：公益財団法人 川崎市国際交流協会

協賛：川崎ライオンズクラブ、川崎中ロータリークラブ、創作集団にほんご

協力：国際ソロプチミスト川崎、東京衣裳きもの学院

後援：川崎市教育委員会、川崎商工会議所、

「音楽のまち・かわさき」推進協議会

(対 象) 日本語を母語としない来日 5 年以内の外国人で、企業の外国人研修生、市内の大学、専門学校の留学生、市民館等の日本語講座の受講生等

(出場団体等) 11 団体 18 名

中国	日本語クラブ土曜の会	「日本のイメージ」
台湾	川崎市国際交流協会	「和食から見た日本」
ベトナム	興和日本語学院	「私の目で見た日本」
中国	多摩市民館識字学級	「母への思い」
ベトナム	株式会社リード技研	「私と仕事」
スリランカ	興和日本語学院	「しずかな日本人」
中国	専修大学	「日中の水族館や動物園の比較」
ミャンマー	米山ファッションビジネス専門学校	「私が選んだ留学先」
中国	川崎市国際交流協会	「私は日本の生活に慣れて行けるかな？」
ベトナム	リード技研	「日本での実習生活」
中国	あさおにほんごすいようクラス	「リオ凱旋パレードから学んだこと」
ベトナム	川崎市国際交流協会	「日本での出産体験」
韓国	早稲田 EDU 日本語学校横浜校	「フリーズの花言葉について」
ネパール	米山ファッションビジネス専門学校	「日本に慣れてきたこと」
中国	洗足学園音楽大学	「自分らしく」
ベトナム	専修大学	「やわらかい日本語」
台湾	外語ビジネス専門学校	「変身の扉」
中国	日本語クラブ土曜の会	「環境に優しい日本」

(聴衆 参加者) 223 名

(交流会参加者) 99 名

■ 8 国際文化交流会事業

市民の国際理解を深めるため、音楽等を通じた国際文化交流会を開催した。

(1) 「多文化映画会」

日本映画大学との共同企画として、多文化共生を促す作品や外国人留学生及び卒業生が携わり活躍した作品を上映する。

今年度は、当該年度映画大学卒業制作の最優秀受賞作品を上映し、映画大学学長はじめ関係者を交えたトークセッションを開催した。

(期 日) 平成 29 年 2 月 18 日 (土) 13:30~16:00

(会 場) 川崎市国際交流センター・ホール

(内 容) 鶴追い人

(参加者) 75名

(2) 世界の音楽会（魅惑の音楽紀行）

「日本・イタリア外交関係樹立 150 周年」を記念し、イタリア音楽を体感するコンサートを開催した。

(期 日) 平成 28 年 10 月 15 日 (土) 13:30~15:00

(会 場) 川崎市国際交流センター・ホール

(後 援) 川崎市教育委員会、「音楽のまち・かわさき」推進協議会

(内 容) オペラ音楽、映画音楽、ポップス音楽、ジャズ音楽の演奏と日本語による解説

(出 演) フラビオ・パリージ (アルトサクソ)、谷頭 和希 (ピアノ)

(参加者) 100名

(3) 生活にほんごサロン

日本語教室に通えない外国人市民に、日本語サロンサポーターを 1 対 1 でマッチングし、日本語を学ぶ機会を提供するとともに、相互文化について理解を深める多文化共生の場を提供した。

(日 時) 平成 28 年 8 月~平成 29 年 3 月

(会 場) 川崎市国際交流センター

(内 容) ペアで相談し決定する

(期 間) 6 か月~1 年

(参加費) 無料

V 外国人相談事業

■ 9 外国人相談事業

外国人から日常生活などに関する相談を受け、情報提供と助言を行うとともに、必要に応じて関係機関・団体等への紹介を行った。川崎市国際交流センター、川崎区役所、麻生区役所の相談員全員による相談報告と情報交換のためのミーティングを毎月 1 回、川崎市国際交流センターで行った。

(1) センター相談事業

川崎市国際交流センター

(相談言語・相談日) 協会相談員 6名

英語	月・火・水・木・金・土	10:00~12:00、13:00~16:00
中国語	火・水・金	10:00~12:00、13:00~16:00
韓国・朝鮮語	火・木	10:00~12:00、13:00~16:00
ポルトガル語	火・金	10:00~12:00、13:00~16:00
スペイン語	火・水	10:00~12:00、13:00~16:00
タガログ語	火・水	10:00~12:00、13:00~16:00

(2) 相談実績

年間相談数	1, 668件
川崎市国際交流センター	1, 624件
川崎区役所	36件 (再掲)
麻生区役所	8件 (再掲)

(3) 相談支援

① 専門相談会

(センター内)

○行政書士による「外国人ビザ無料相談会」(毎月第3日曜日 14:00~16:00)

(外部)

○かながわ外国人居住支援ネットワーク運営協議会、川崎市あんしん住宅ネットワーク

川崎市住宅基本計画改定委員会

○川崎市外国人代表者会議選考委員会

○川崎市女性保護事業関係機関連絡会 ○川崎市DV被害者支援対策推進会議

○中原区子育てネットワーク会議・中原区未来フェスタ実行委員会

○9都県市外国人相談企画研究会 ○関弁連外国人相談担当者による懇談会

○多言語支援センターNW会議 ○神奈川県外国人相談機関連絡会

○多文化フェスタさいわい(平成28年9月22日(木・祝日)開催)外国人相談ブースに相談員2名派遣 相談件数3件

② 相談員研修

国際交流センター、川崎区役所、麻生区役所の相談員全員による相談報告と情報交換のためのミーティングや研修を毎月第4火曜日に、川崎市国際交流センターで行った。

さらに、川崎市国際交流センターにおいて研修を実施したり外部機関での研修に相談員を派遣したりする中で、新しい情報収集に努めるとともに、相談員の資質向上に努めた。

○第1回 平成28年7月26日(火)「日本語を母語としない人のための高校進学ガイダンス実施に向けた事前研修」

○第2回 平成28年11月22日(火)「外国籍住民のすまい探しにおけるUR賃貸のメリットについて」

○第3回 平成29年2月28日(火)「法律相談の事例から考える外国人が抱える問題について」

③ 外部研修会等への派遣

- 川崎市居住支援制度連絡調整会議
- 外国籍県民相談員研修会
 - 第2回 平成28年7月23日(土)「介護保険制度について」
 - 第4回 平成28年11月25日(金)「こころに問題を抱えた相談者への対応と支援者のメンタルヘルス」
 - 第5回 平成29年1月27日(金)「外国籍女性をとりまく問題と支援」
- 地球国際化協会職員国内研修 平成28年9月29日(木)
 - 「地域国際化協会と災害時：熊本地震の振り返り」
- 川崎市「やさしい日本語」に関する研修 平成28年10月12日(水)
- 神奈川県外国人居住支援NW運営協議会 平成29年3月29日(水)

VI その他の事業

■ 10 東京オリンピック・パラリンピック関連事業

- (1) 観光ボランティア通訳セミナー (■6-(1)再掲)

■ 11 国際交流センター設置目的に沿った事業

- (1) 地域資源を活用した外国籍の子ども支援 (自主事業)

- ① 外国につながる子どもの学習支援サポーター養成研修

	日程	内 容	講 師	受講者
1	5月21日(土)	川崎市の現状と取り組み	川崎市総合教育センター カリキュラムセンター指導主事	18
		川崎市国際交流センターの 宿題支援報告	多文化活動連絡協議会代表	
2	6月4日(土)	日本語支援で教科学習へ、その 教え方	神奈川県立川崎高校 日本語 非常勤講師	26
3	6月11日(土)	日本語を第二言語とする子ども が算数を学ぶために	たぶんかフリースクール よこはま講師	26
4	6月25日(土)	書く力を育てていくための学習支 援方法	横浜市立 小学校 日本語 非常勤講師	20
5	7月9日(土)	国語の教科書を使った日本語支 援の方法、教材紹介	横浜国立大学国際教育 センター 非常勤講師	23
6	7月16日(土)	全国の学習支援の取り組み紹介	一橋大学大学院社会学 研究科 博士後期課程	22
		これからの宿題支援事業の計画	多文化活動連絡協議会代表	

- ② 外国につながる子どもの学習支援「宿題を一緒にしましょう」

9月3日(土)～1月28日(土) 延べ21回 参加者 8名 支援者 33名

■ ※施設運営及び維持管理業務

(1) 国際交流センターの管理運営（JV）

①統括業務

施設の運営、維持管理業務を円滑に行うため、業務間調整、職員への教育・指導を行った。

②施設利用受付及び案内業務

ア 来館者に対するサービスに努め、会議室等の鍵の貸出し、利用料の徴収、貸出し備品の管理などの業務を誠実にを行った。

イ 国際交流センターの特性として、来館される外国人市民等の皆さんに対応するため、語学に堪能な職員を配置するとともに、ふれあいネットや各種機器等への説明、接遇について研修を実施し、利用者に快適なサービスを提供するよう努めた。

③施設利用促進業務

ア 国際交流センターへのアクセス向上を目的として、最寄の商店街にあるアクセスポイントを川崎市の新しいシンボルマークを取り入れ多言語表記により更新し、併せて商店街の協力を得て、サインゲートに多言語シールを貼ることで元住吉駅から誘導案内を行った。

イ 国際交流センターホテルとの連携を図るため、宿泊に係わる利用案内や各種関連事業開催の利便性などについて説明し、施設利用促進を図った。

ウ 随時、施設見学を受けて市民への利用促進を図った。

エ 川崎市国際交流センター活用推進委員会の開催

平成28年12月14日、茶室「木月庵」について委員の見学会を実施し、茶室の様式を学習するとともに、アンケートにより茶室利用者から意見を集約し、平成29年3月6日に報告し今後の取組、計画を確認した。

◆川崎市国際交流センター活用推進検討委員会

川崎市国際交流センターの活用促進を図るため、第4期川崎市国際交流センター活用推進検討委員会委員選任の後、川崎市国際交流センター活用推進委員会を2回開催した。

○平成28年度第1回川崎市国際交流センター活用推進検討委員会

日時：平成28年12月14日(水) 10:00～

会場：川崎市国際交流センター1階 特別会議室

内容：委嘱状伝達

1 委員長あいさつ

2 出席委員(自己紹介)

3 事務局職員等紹介及び資料確認

4 副委員長選出

5 議事 (1) 指定管理者選定評価委員会の評価結果について

(2) 委員会のスケジュールについて

(3) 茶室「木月庵」について及び見学

(4) 茶室利用者のご提案等

(5) 第2回委員会までの取り組み

(6) その他(平成28年広報記録紹介)

○平成28年度第2回川崎市国際交流センター活用推進検討委員会

日時：平成29年3月6日(月) 14:00～

会場：川崎市国際交流センター1階 特別会議室

内容:

1 委員長あいさつ

2 資料確認

3 議事 (1)「茶室」利用者アンケート結果の報告及び今後の取組、計画の確認

(2) 駐車場有料化について

(3) センター活用について(意見交換)

(4) その他 (平成29年広報記録紹介)

オ 自動販売機、コピー機及びカラオケ機器(交流サロン)、AED(エントランスロビー)、エントランスロビーや談話ロビー、外国人相談を行う事務室においてインターネット環境を無料で提供できるWI-FIを設置し、利用者にサービスの提供を図った。

カ レセプションルームにインターネット環境を無料で提供できるWI-FIを設置し、利用者にサービスの提供を図った。

キ 撤去された館内の公衆電話の代わりに、特殊簡易公衆電話(通称ピンク電話)を設置し、利用者にサービスの提供を図った。

◆外国人市民、来館者を交えた防災訓練の実施

(期日) 平成29年2月21日(火) 10:14~11:50

(内容) 防災訓練、中原消防署による消防訓練、防災用品の展示、身近な備え紹介、

漆黒の暗闇体験と災害用アルファ米等の試食・紹介、災害用伝言ダイヤル171の体験、

web171災害用伝言板、119通報訓練、AED、水消火器、起震車での大地震体験

多言語資料の配布、災害用品の展示、自然災害の脅威

(アンケート)日本人参加者や外国人参加者にアンケートを行い、体験したもので役にたった企画や内容について、有事の際の参考としてまとめ、掲示した。

◆利用者アンケートの実施

防災や災害時の備えについて利用者にアンケートを行い、避難場所や災害時の情報の取得方法等の周知を行うとともに、集計の結果は、防災訓練の体験の内容や、センターからの情報提供方法に活かした。また、集計の結果をまとめ、平成28年2月21日(火)から平成28年3月31日(金)まで館内に掲示した。

(実施日) 平成28年9月27日(火)~10月13日(木)

(回答数) 242名

④図書・資料室管理業務

ア 一般図書の閲覧管理業務のほか、情報文化活動の拠点として国際交流に関わる様々な情報の収集及び分類や、本の装備と配架などの作業を速やかに行い、利用者へ最新の情報提供を行った。

イ 小学生から高齢者まで幅広い利用者に対し、細やかなサービスの提供を行った。

ウ 利用の促進を図るため「図書・資料室だより」を隔月発行し、新着図書の紹介や、特集としてテーマ別の図書の紹介を行った。発行部数200部で近隣の公共機関及び小学校などに配布し、施設の周知に努めた。

エ 隔月毎にテーマを設けて図書の展示を行い、多くの入館者へ様々なジャンルの本の紹介をした。

オ 平成29年3月31日を以って閉館するカリタス女子短期大学図書館からの国際交流関連書籍等の寄贈を受け入れ、蔵書拡充をした。

⑤施設・設備の維持管理及び補修業務

- ア 国際交流センターの施設・設備を総合的に管理し、利用者に対し安全で快適な環境を提供するため、施設の維持管理及び補修業務を行った。
- イ 中央監視システムならびに施設の巡回点検を通じて、諸設備の安全な運転監視と操作を行うとともに、適切な保守管理を実施して予防保全に努めた。
- ウ 施設の経年劣化に対応するため、施設・設備の年次補修計画を策定し、効果的かつ経済的な補修を実施した。
- エ 施設・設備の劣化状況や異常を早期に把握し、適切な予防措置と迅速な処理を実施して、効果的な管理運営と施設の耐久化を図った。

⑥舞台及びAV機器等維持管理業務

市民文化の醸成と国際文化交流の場とすべく、利用者に機器の使用説明と操作指導を行うとともに、ホール、レセプションルーム、特別会議室等の舞台装置、機器類の維持管理を行った。

⑦施設警備業務

宿泊施設を併設する国際交流センターの事情を考慮し、夜間時の機械警備と連携して一般警備を行い、防犯、防火、防災に努めるとともに、機密の保持に留意した。

⑧駐車場管理業務

駐車場内での車両の適切な配置整理を行うとともに、歩行者及び自転車利用者等の安全を図り、事故防止に努めた。また、外路への渋滞回避など快適な利用が出来るよう配慮した。

⑨設備保守点検業務

施設機能の低下を防止し、予防保全及び機械・装置の耐久年数を伸ばすとともに、全体の機能が円滑に運用維持されるよう、各設備の定期点検及び法定点検を実施した。

⑩施設環境衛生管理業務

ア 建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管法）に基づく環境衛生管理基準に従い、室内環境の維持、飲料水の水質管理及び館内消毒を行い、快適な利用空間を提供した。

イ 空気環境測定業務 年6回（奇数月）

ウ 飲料水水質検査 年2回（2月・8月）

エ 給湯水水質検査 年2回（2月・8月）

オ 害虫防除 年12回

カ レジオナラ症対策（空調用冷却塔へ水処理剤の投薬実施）

（冷却水水質検査 年2回 6月・8月）

⑪施設清掃業務

ア 施設内外を常に清潔で衛生的な状態に保ち、その保全と美観の維持に努めた。

イ 施設ごとに材質及び用途に最も適した方法で清掃を実施した。また、利用者の利便性を考慮して、各施設が利用されていない時間帯に適宜に実施した。

ウ フリースペースであるイベント広場の出入口付近は土砂等で汚損されることが多いため、常に巡回清掃に努めた。

⑫植栽維持管理業務

ア 施設周囲の街路樹等を定期的に剪定し、緑溢れる空間の創造に努めた。

イ イベント広場等の庭園の雑草を定期的に駆除し、利用者の憩いの場の環境維持に努めた。

ウ 茶室及び周辺的环境整備に努めるとともに、茶室庭園の維持管理を行った。

(2) 施設整備

①施設の改修

- ・ 街路樹危険木の伐採作業
- ・ 特別会議室上庇ウレタン防水工事
- ・ 車寄せ歩車道境界ブロック交換工事
- ・ 雑排水槽ポンプ更新工事
- ・ 第1会議室前男女トイレ排水管除菌消臭洗浄作業
- ・ 監視カメラ更新工事（ロビー、展示ロビー、茶室、エントランスロビー）
- ・ 別棟センサーライト取付工事
- ・ 不良照明器具のLED化（エントランスロビー、共用通路）

②施設的环境整備等

- ・ ホールプロジェクターの更新
- ・ 図書・資料室天井灯のLED化
- ・ レセプションルームシャンデリア、ダウンライトのLED化
- ・ 談話ロビー、情報ロビー吹き出しロフィルターの更新
- ・ 会議室用プロジェクターの更新
- ・ 茶室炉用電熱器の購入
- ・ ボランティア活動室用机6台購入
- ・ 特別会議室、特別応接室用机4台購入

(3) 市民共同おひさま発電所の見学会

①経過等

平成20年8月に国際交流センターに「市民共同おひさま発電所」が設置された。

これは、地球温暖化対策問題に取り組む市民が中心となって立ち上げた「市民共同発電所プロジェクト」が市民、事業者から集めた寄付金とグリーン電力基金からの助成金及び a p b a n kからの融資によって、市民自らの手により設置し、川崎市に寄付したものである。

今後は川崎市の再生可能エネルギーの導入を進めるシンボルとして、またセンターを訪れる外国人をはじめ多くの皆さまに、地球温暖化対策に取り組む川崎市民のメッセージを継続して発信していく。また、「川崎地域エネルギー市民協議会」が平成28年1月に設立したが、その協議会の主要メンバーとしても活動している。

平成28年8月27日 川崎市国際交流センターで首都圏市民電力交流会が開催された。

平成28年11月8日 韓国・富川市職員が国際交流センターへ来館。「市民共同おひさま発電所」を見学した。

②設備の概要

太陽光発電（合計出力）	6.25kW
内訳 国際交流センター陸屋根設置分	4.32kW
プロムナード上部設置部分	1.93kW
事業費 約850万円	
内訳 寄付金	150万円
グリーン電力基金	700万円

(4) 利用実績

①平成28年度 川崎市国際交流センター来館者数（月別）

4月	16,819人
5月	17,746人
6月	20,758人
7月	38,075人
8月	14,548人
9月	17,643人
10月	19,395人
11月	19,295人
12月	17,103人
1月	15,738人
2月	17,684人
3月	17,376人
合計	232,180人

※月別の来館者数は、施設利用者、一般来館者、図書・資料室利用者、インターネット利用者、各種講座・イベント等参加者の合計です。

②川崎市国際交流センター施設利用状況（年間開館日数：344日）

施設名	利用コマ数	利用率%	施設名	利用コマ数	利用率%
ホール(264)	742	71.9	特別会議室(28)	62	6.0
レセプションルーム	655	63.5	特別応接室(8)	106	10.3
会議室(第1)(36)	541	52.4	料理室(24)	215	20.8
会議室(第2)(24)	729	70.6	交流サロン(30)	838	81.2
会議室(第3)(24)	610	59.1	茶室	359	34.8
会議室(第4)(30)	530	51.4	レクリエーションルーム	978	94.8
会議室(第5)(30)	561	54.4			
会議室(第6)(18)	841	81.5			
会議室(第7和室)(10)	786	76.2			

(注) 1. ()は定員

2. 利用コマ数は、利用区分（午前、午後、夜間）合計の実利用数

3. 利用率は、小数点以下2桁を四捨五入

※申し込みは、川崎市公共施設利用予約システム（ふれあいネット）による申し込み及び抽選。

但し、ホール、レセプションルーム、特別会議室、特別応接室は直接センターの窓口で受付。